2(4)　観　光

観　光

管内は、知床国立公園や野付風蓮道立自然公園などの雄大な自然公園のほか、本道を代表する大酪農郷、冬期に到来する流氷など、貴重で豊富な観光資源に恵まれており、オオワシ、オジロワシ、シマフクロウ、タンチョウなど数多くの天然記念物の生息地ともなっています。平成17年７月に知床が世界自然遺産に、同年11月には野付半島・野付湾、風蓮湖・春国岱地域がラムサール条約湿地に登録されました。

根室振興局では、夏季集中型、通過型観光の割合が高いといった状況を解決するため、体験型観光に関する情報発信の強化や教育旅行等の誘致などの取組を進めています。

また、市町においては、根室市では自然を歩き楽しむフットパスや漁船を活用したクルーズ船、世界中のバードウォッチャーから注目されるバードウォッチング、別海町では野付湾の自然環境を活かして春～秋のクルージングのほかに氷平線ウォークなどの冬期体験メニュー、中標津町では乗馬･牧場体験･食品加工など一連の農業体験、標津町では「日本遺産『鮭の聖地の物語』」に沿った各種体験プログラム、羅臼町では世界自然遺産「知床」の豊かな自然環境を体感できるホエール・バードウォッチングや基幹産業である水産業に密着した観光メニューなど、地域の特性･優位性を活かした多様な観光コンテンツのＰＲと誘客などを推進しています。

令和６年度の管内観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の収束などにより、前年度比104％と増加しました。

また、令和６年度の管内訪日外国人宿泊客延数は、円安による外国人旅行客の増加などにより、前年度比135.6%となり、過去最多となりました。

バードウォッチング（根室市）

氷平線ウォーク（別海町）

牧場を巡るサイクリング（中標津町）

ポー川史跡自然公園スノーシュー（標津町）

ホエールウォッチング（羅臼町）

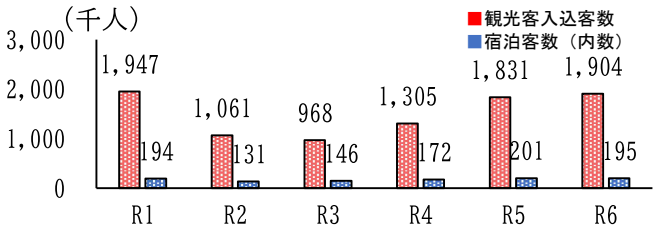
最近のトピック

民間企業からの寄付金500万円を活用した「バードウォッチング推進強化事業」として、Instagramフォトコンテストの初開催、都内写真展会場でのブース出展及び根室中標津空港での写真展示、台湾から有識者を招聘したバードウォッチングモニターツアーと観光関係者向けのセミナーを実施しました。

野鳥の聖地「知床ねむろ」フォトコンテスト最優秀賞　「燃ゆる吐息」（撮影地：羅臼町）

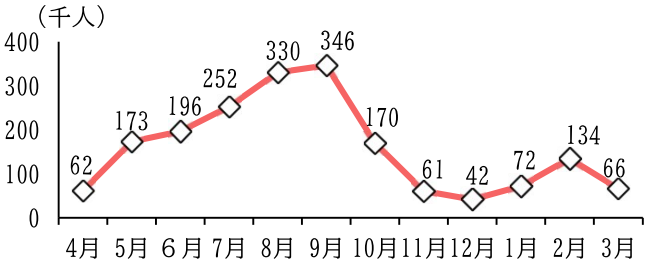
2(4)　観　光

観光入込客数の推移



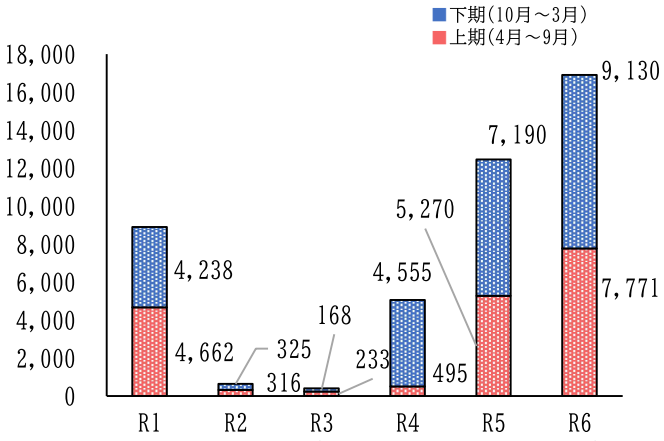
（令和６年度北海道観光・入込客数調査）

月別観光入込客数状況



※四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。
（令和６年度北海道観光・入込客数調査）

外国人観光客宿泊客延数状況



（令和６年度北海道観光・入込客数調査）

知床雪壁ウォーク（羅臼町）
日本一開通期間が短いことで知られる知床横断道路を開通前に歩くことができる１日かぎりのイベントが４月に開催されます。

ポー川史跡自然公園（標津町）
数千年昔の竪穴式住居跡が窪みとして確認でき、その数は日本最大です。

道立ゆめの森公園（中標津町）
敷地は南北約１km、東西に約600m、面積は約54.2haという広大な公園です。

羅臼ビジターセンター（羅臼町）
日本最大のシャチの骨格標本が展示されており、世界自然遺産知床の海域の情報が秀逸です。

野付半島原生花園（別海町）
６月からセンダイハギ・エゾカンゾウ・ハマナス・ノハナショウブなど色鮮やかな花々が咲き、一面を埋め尽くします。

根室半島チャシ跡（根室市）
「チャシ」はアイヌ語で「柵囲い」を意味し、砦、祭祀の場、見張り場など多目的な用途で使われたとされています。根室市内には３２カ所のチャシ跡が残っています。

根室フットパス（根室市）
イギリスで発達した、自然を歩き楽しむための散歩道「フットパス」が、整備されています。